第45回 日本画像医学会　2026年2月27日（金）

時間帯：8:55〜10:15／10:20〜10:40／10:45〜12:05／12:15〜13:15／13:20〜14:40／14:45〜15:05／15:15〜16:35／16:45〜18:05

第1会場　501B

8:30〜8:50 評議員会／開会式

08:55〜10:15　■シンポジウム1 呼吸器1　肺サルコイドーシスに関する最新の話題
司会　鎌田 浩史（埼玉医科大学病院呼吸器内科）／杉浦 弘明（防衛医科大学校放射線科）
1. サルコイドーシスにおける疫学・臨床・画像・免疫の統合的理解と個別化医療への展望　澤種 美千瑠（自治医科大学内科学講座呼吸器内科学部門）
2. 肺サルコイドーシスの画像診断　杉浦 弘明（防衛医科大学校放射線科）
3. サルコイドーシスの病理発生と病理　河端 美則（埼玉県立循環器呼吸器病センター病理診断科）

10:20〜10:40　■一般演題1 呼吸器1
座長　中鉢 正太郎（慶應義塾大学呼吸器内科）
演者　濱田 泰彦（埼玉医科大学病院呼吸器内科）／趙 健助（埼玉医科大学病院呼吸器内科）／脇田 貴大（大分県立病院放射線科）

10:45〜12:05　■シンポジウム2 呼吸器2　COPDの形態と機能 update
司会　岡 輝明（結核予防会複十字病院病理診断部）／仲村 秀俊（埼玉医科大学病院呼吸器内科）
演者
1. COPDの病因と治療 update　仲村 秀俊（埼玉医科大学病院呼吸器内科）
2. 胸部CT 解析による最新の知見　田辺 直也（京都大学呼吸器内科）
3. 4次元呼吸ダイナミックCT（dynamic-ventilation CT）で観察するCOPDと関連疾患　山城 恒雄（学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院放射線科）
4. 「COPDの形態と機能 update」－COPDの病理形態学　岡 輝明（結核予防会複十字病院病理診断部）

12:15〜13:15　■ランチョンセミナー1　核医学治療を高度化するセラノスティックスドシメトリ
座長　東 達也（量子医学研究所分子イメージング診断治療研究部）
講師　三輪 建太（福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科）
共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

13:20〜14:40　■シンポジウム3 呼吸器3　免疫チェックポイント阻害薬による肺病変の画像と病理
司会　各務 博（埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科）／奥寺 康司（埼玉医科大学医学部病理学）
1. 免疫チェックポイント阻害薬の作用点となる腫瘍微小環境のT細胞　各務 博（埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科）
2. 術前免疫チェックポイント阻害剤治療後の肺癌手術―治療前 N1 リンパ節の意義と切除範囲の再考―　菱田 智之（埼玉医科大学国際医療センター呼吸器外科）
3. 免疫チェック阻害薬治療下でのCT読影について　馬場 康貴（埼玉医科大学国際医療センター画像診断科）
4. 免疫チェックポイント阻害薬による肺病変の画像と病理（病理組織学的変化について）　奥寺 康司（埼玉医科大学医学部病理学）

14:45〜15:15　■ミニレクチャー　Philipsの二層検出器スペクトラルCTは肺塞栓の患者に有用であるか?
座長　仲村秀俊（埼玉医科大学病院呼吸器内科）
講師　岡田 真広（日本大学医学部放射線医学分野）
共催：株式会社フィリップス・ジャパン

16:00〜18:00　レントゲンカンファレンス
司会統括　小山 貴（倉敷中央病院放射線診断科）／藤本 肇（沼津市立病院放射線科）
病理コメンテーター　杉本 曉彦（東京大学大学院医学系研究科分子病理学分野）
出題者
1. 乗本 周平（兵庫県立こども病院放射線診断科）
2. 吉田 純（大津赤十字病院放射線科）
3. 加納 進太郎（国際医療センター放射線科）
4. 八木 文子（慶應義塾大学医学部放射線科学教室（診断））
5. 向井 宏樹（千葉大学医学部附属病院放射線科）
6. 賀来 永（倉敷中央病院放射線診断科）
回答者
1. 大木 拓人（千葉大学医学部附属病院放射線科）
2. 益岡 壮太（自治医科大学医学部放射線医学講座）
3. 櫻田 紘基（大津赤十字病院放射線科）
4. 山路 大輔（鳥取大学医学部統合内科医学講座画像診断治療学分野）
5. 塚元 銀音（京都大学大学院放射線科）
6. 加賀屋 駿（筑波大学附属病院放射線診断・IVR科）
共催：コニカミノルタジャパン株式会社

第2会場　501A

08:55〜10:15　■シンポジウム4 骨軟部1　骨壊死と鑑別を要する疾患
司会　山口 岳彦（獨協医科大学日光医療センター病理診断科）／山本 卓明（福岡大学整形外科）
演者
1. 骨壊死と鑑別を要する疾患：画像の観点から　小橋 由紋子（埼玉医科大学総合医療センター病理部）
2. 骨壊死と鑑別を要する疾患の病理組織学的所見　今田 浩生（埼玉医科大学総合医療センター病理部）
3. 骨壊死と鑑別を要する疾患　山本 卓明（福岡大学整形外科）

10:45〜12:05　■シンポジウム5 骨軟部2　脂肪性軟部腫瘍 update
司会　青木 隆敏（産業医科大学放射線科学講座）／久岡 正典（産業医科大学第一病理学講座）
演者
1. 脂肪性腫瘍の画像診断　長田 周治（久留米大学放射線医学講座）
2. 脂肪性腫瘍の新規分類と病理診断　山下 享子（がん研究会有明病院病理部）
3. 治療方針と治療成績　松延 知哉（九州労災病院整形外科）

12:15〜13:15　■ランチョンセミナー2　骨軟部MRI画像診断の最前線：臨床・研究から小児領域の先進技術まで
座長　野崎 太郎（防衛医科大学校放射線科）
講師
1. MRIが拓く新たな骨軟部画像診断：CT-like image と UTE imaging　福田 健志（東京慈恵会医科大学放射線医学講座）
2. Deep Learning 再構成を小児に活かす ―3Dシーケンスの利点―　古川 理恵子（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部）
共催：シーメンスヘルスケア株式会社

13:20〜14:40　■共催セミナー1　画像から繋ぐIVR
座長　近藤 浩史（帝京大学放射線科学講座）
演者
1. 日常診療で遭遇する出血、塞栓症例　関野 啓史（福島県立医科大学放射線医学講座）
2. IVR 標準化を要する疾患に対する画像診断と治療の統合アプローチ　蘆田 浩一（東京慈恵会医科大学放射線医学講座）
3. 外傷IVRにおける画像活用　一ノ瀬 嘉明（国立病院機構災害医療センター放射線科）
共催：ゲルベ・ジャパン株式会社

14:45〜15:05　■一般演題4 骨軟部・小児
座長　長田 周治（久留米大学放射線科）
演者　蓮沼 侑樹（慶應義塾大学医学部放射線科学教室（診断））／谷 知礼（福岡大学放射線科）／初田 直駿（兵庫県立尼崎総合医療センター放射線診断科）

15:15〜16:35　■シンポジウム6 頭頸部　顎骨骨髄炎
司会　荒平 聡子（関東労災病院放射線治療科）／尾尻 博也（東京慈恵会医科大学放射線医学講座）
演者
1. 顎骨骨髄炎の画像診断　馬場 亮（東京慈恵会医科大学附属柏病院放射線科）
2. 顎骨骨髄炎の外科的治療　坂本 由紀（関西医科大学総合医療センター歯科口腔外科）
3. 頭頸部癌に対する放射線治療の原則と放射性顎骨壊死を減らす工夫　荒平 聡子（関東労災病院放射線治療科）

16:45〜18:05　■シンポジウム7 口腔　薬剤関連顎骨壊死の診断と治療戦略のアップデート
司会　有地 淑子（大阪歯科大学歯学部歯科放射線学講座）／杉田 好彦（愛知学院大学歯学部口腔病理学・歯科法医学講座，愛知学院大学歯学部附属病院口腔病理診断部）
演者
1. 薬剤関連顎骨壊死：画像診断のアップデート　小椋一朗（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科放射線学講座）
2. 薬剤関連顎骨壊死の診断と治療戦略のアップデート「薬剤関連顎骨壊死：口腔外科から」　大鶴 光信（神奈川歯科大学口腔外科）
3. 薬剤関連顎骨壊死の病因・病態・診断を考察する　杉田 好彦（愛知学院大学歯学部口腔病理学・歯科法医学講座，愛知学院大学歯学部附属病院口腔病理診断部）

第3会場　503AB

08:55〜10:15　■シンポジウム8 中枢神経1 脳腫瘍　転移性脳腫瘍
司会　黒川 遼（東京大学医学部放射線医学講座）／杉本 曉彦（東京大学大学院医学系研究科分子病理学分野）
1. 脳外科の観点から見た転移性脳腫瘍診療の現状と治療戦略　平田 猛（東京大学脳神経外科）
2. 病理医は転移巣を見て原発が分かるのか　杉本 曉彦（東京大学大学院医学系研究科分子病理学分野）
3. 転移性脳腫瘍の画像診断　黒川 遼（東京大学医学部放射線医学講座）

10:20〜10:40　■一般演題2 中枢神経
座長　森 墾（自治医科大学医学部放射線医学講座）
演者　西村 駿助（北海道大学病院放射線診断科）／奥村 能啓（岡山旭東病院放射線科）

10:45〜12:05　■シンポジウム9 中枢神経2 脳血管障害　低酸素脳症の深層と周縁 — Beyond Hypoxic Encephalopathy —
司会　山田 惠（京都府立医科大学放射線科）／松木 充（自治医科大学とちぎ子ども医療センター放射線科）
演者
1. 心停止後症候群（PCAS）の神経学的予後判定における画像評価　野田 浩太郎（東京科学大学病院集中治療部・脳神経内科）
2. 低酸素脳症の画像診断　池辺 洋平（北海道大学大学院医学研究院死因究明教育研究センター）
3. 法医剖検例における全脳虚血の形態学的変化　山田 真嗣（東京科学大学法医学分野）

12:15〜13:15　■ランチョンセミナー3　画像鮮明化アルゴリズムの画像医学での応用
座長　加藤元彦（慶應義塾大学医学部内視鏡センター）
講師
1. 画像鮮明化システム— "視える化" 技術がもたらす内視鏡領域の新たな可能性　桐田 久美子（慶應義塾大学腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門）
2. 放射線医療領域における画像鮮明化アルゴリズムの可能性　濱口 真吾（聖マリアンナ医科大学放射線診断・IVR学講座）
共催：株式会社ロジック・アンド・デザイン、株式会社シラック・ジャパン

13:20〜14:40　■シンポジウム10 中枢神経3 感染症・炎症性疾患　自己免疫性脳炎 update
座長　土屋 一洋（杏林大学放射線医学教室）
演者
1. 自己免疫性脳炎の病理 update　八木田 薫（国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査室）
2. 自己免疫性脳炎およびその類縁疾患の update　飯塚 高浩（北里大学医学部脳神経内科学）
3. 自己免疫性脳炎の画像診断　加賀谷 理紗（国立精神神経医療研究センター病院放射線診療部）

15:15〜16:55　■シンポジウム11 AI（人工知能）　画像診断AI研究の今とこれから 〜医療DXから研究DXへのクロス・トランスフォーメーション〜
司会　山田 哲（信州大学医学部医療データサイエンス講座）／原 武史（岐阜大学人工知能研究推進センター医学分野部門/工学部電気電子・情報工学科）
演者
1. DXが変える画像診断のAI研究 ―DXを研究にどう活かすか―　一戸 記人（信州大学医学部画像医学教室）
2. 深層学習を用いた造影超音波における肝腫瘍性病変の性状診断に関する研究　杉本 勝俊（東京医科大学消化器内科）
3. 臨床応用を見据えた基盤型日本語医療LLMの構築　相澤 彰子（国立情報学研究所）

第4会場　503CD

08:55〜10:15　■総合診療セミナー1 小児科　神経芽腫の臨床像から画像診断
座長　松木 充（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部）
演者
1. 小児神経芽腫の臨床的多様性と治療戦略 ― 画像診断に求められる役割 ―　川原 勇太（自治医科大学小児科学）
2. 神経芽腫の画像診断　松木 充（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部）

10:20〜10:40　■一般演題3 消化器
座長　曽我 茂義（獨協医科大学放射線科）
演者
1. 小倉 彩加（国立国際医療センター医療教育部門）
2. 柳生 健成（国立国際医療センター放射線診断科）
3. 星野 佑貴（山梨大学医学部附属病院呼吸器内科）

10:45〜12:05　■シンポジウム12 肝・胆・膵　肝癌と腫瘍微小循環
司会　馬場 康貴（埼玉医科大学国際医療センター画像診断科）／岡田 真広（日本大学医学部放射線医学分野）
演者
1. EOB-MRIで読み解く肝癌の免疫微小環境　上嶋 英介（神戸大学大学院医学研究科放射線医学分野）
2. 肝癌の微小循環と病理組織所見　尾鳥 英知（栃木県立がんセンター病理診断科・研究所分子病理分野）
3. 肝癌と腫瘍微小循環：外科の立場から　黒田 慎太郎（広島大学消化器・移植外科学）

12:15〜13:15　■ランチョンセミナー4　肝膵造影CT検査における可変注入のインパクト 一実臨床はここまで変わる一
座長　陣崎 雅弘（慶應義塾大学医学部放射線科学教室（診断））
講師　市川 智章（群馬大学大学院医学系研究科放射線診断核医学講座）
共催：株式会社根本杏林堂

13:20〜14:40　■総合診療セミナー2 肝・胆・膵　大腸癌肝転移の診断とマネージメント
座長　五島 聡（浜松医科大学放射線診断学講座）
演者
1. 大腸癌肝転移の画像診断：各モダリティの特徴と使い分け，最新の動向　尾崎 公美（浜松医科大学放射線診断学講座）
2. 大腸癌肝転移の診断とマネージメント　赤星 径一（東京医科大学大学院肝胆膵外科学分野）
【領域講習】日本医学放射線学会

15:15〜16:35　■総合診療セミナー3 救急　消化管出血に対する治療戦略（内視鏡医とIVR医の立場から）
座長　近藤 浩史（帝京大学放射線科学講座）
演者
1. 消化管静脈瘤に対する治療戦略　古市 好宏（東京女子医科大学附属足立医療センター検査科・消化器内視鏡科）
2. 消化管出血に対する治療戦略―IVR医の立場から　田村 吉高（熊本大学病院画像診断・治療科）